

健やか生活拝見 (市内各地域でご活躍の方々) をご紹介するコーナーです

■「元気サロン きぼう」を開設

「元気サロン きぼう」会長 吉垣信義様

介護予防サロン八千代台東の一つ「元気サロン きぼう」を平成29年10月3日旧東学童跡に立ち上げました。毎週火曜日に開催、毎回平均35名の参加者があり、90歳になられた方もお見えになり大変盛況です。予約不要の自由参加で、「やちよ元気体操」「介護予防特化のストレッチ」や「脳トレ」等好評です。イベントでは「もちつき大会」「モグモグタイム」そして「八千代台よこカルタ」に興じます。スタッフ一同もゲストの方と一緒に楽しみながら介護予防に努めていきたいと考えています。みなさんは是非お越しください。



■八勝園体操の会



川緑俊子さん(70歳代)は、八勝園の森公園で毎朝体操を指導しています。登録者は約40名。ユニークなのは創始者の伊藤忠さんが作った替え歌を皆で歌ったあと同じ曲で体操、次にラジオ体操、リズム体操、転倒や認知症予防等を取り入れたオリジナル体操をチューブを使って約35分汗を流します。「みんながあきずに常に楽しめるよう、川緑さんがオリジナル体操をいろいろと編み出してくれているお陰で7年も続いています。」と91才とは思えない程若々しい伊藤さん。現在男性2名、男性募集中！川緑さんは他に元気体操の応援隊、小学校のコミュニティ、老人会、ステップ21とみんなの健康の為幅広く生き生きと活動していらっしゃいます。

勝田台地区民生委員・児童委員 山中八重子 記

俳句コーナー

野良猫と陣取り合戦日向ぼこ

寒い冬、暖かい日向(ひなた)はまさに天国です。が、その日向にはたいてい猫が占拠しています。公園のベンチの日向に野良猫が居座っていましたが、そこへお年寄がやってきて、猫をどかして座ろうとしました。しかし、猫はぐっとお年寄を睨み、日向を譲りません。猫とお年寄とのにらみ合いが続いています。



初夢の続きを見むと二度寝かな

今年の正月の初夢は珍しく「吉夢」となり、いよいよこれからだというところで、目が覚めてしまいました。その続きをみようとして、また布団をかぶりなおしましたが、結局は二度寝となり、まったく別の夢を見てしまいました。「吉夢」とははかないものですね。

前村上地区民生委員・児童委員 島田信輝 (信照)

編集後記

私たち広報部は市内10地区から部長を含む11名で活動しています。地域によって住民の年齢層が大きく異なり、民生委員・児童委員としての関わり方も随分異なることを編集会議の中で感じています。これからも情報を共有しながら、皆さまにわかりやすく親しみやすいテーマと内容の広報誌を目指していきます。

編集責任者 野田 綱信



こんにちは 民生委員・児童委員です!

発行 八千代市民生委員児童委員協議会連合会 発行責任者 藤井 忠雄

民生委員・児童委員の活動例⑨ こんな時にお手伝いいたします!!

民生委員

Yさん(80歳代女性) ひとり暮らし

普段より、訪問をしていたが、話が合わなかったりと様子がおかしくなった。

最寄りの地域包括支援センターへ、相談した。

支援の開始

家族への連絡と共に、認知症との診断のもと、必要な介護サービスを受けることになった。

その後Yさんは、周囲に迷惑をかけたくないという、本人の希望もあり、施設入所となった。

秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談内容や秘密が他に漏れることはありません。あなたとの信頼関係を築くため、守秘義務を徹底します。ひとりで悩まないで、一緒に解決しましょう。



認知症サポーターって知っていますか?

平成30年3月31日現在、八千代市の65歳以上の人口は47,673人で高齢化率は24.3%となっています。

高齢になるほど発症率が高くなるといわれている認知症。

誰もが認知症になる可能性があり、また、認知症の人と接する機会が増えてまいります。

私たち民生委員・児童委員は、誰もが安心して暮らせる地域の身近な相談相手として日々の活動に必要な知識を習得するため、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に関する基本的な知識や認知症の人への対応の仕方など、事例を交えて学んでいます。

この養成講座を受講し認知症について正しい知識を習得した人はオレンジリングが交付され、「認知症サポーター」として認知症の人やその家族を見守り、応援者として活動していくこととなります。

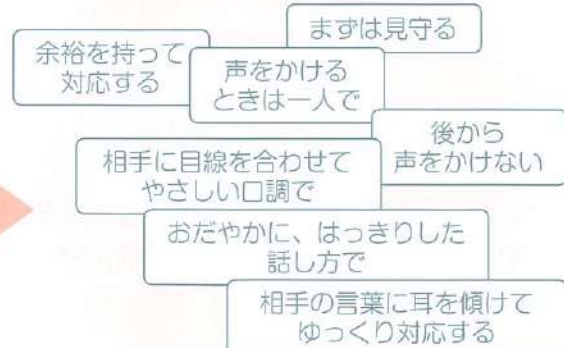
ぜひご相談をしてください。



具体的な対応の7つのポイント

認知症の方と接するときの心がけ

- ① **驚かせない**
やさしい言葉がけ、落ち着いた口調で
- ② **急がせない**
ゆっくり思い出すことを促して
- ③ **自尊心を傷つけない**
分からないこと、忘れてしまうことは悪いことじゃない



八千代市の民生委員・児童委員は217名(平成30年9月30日現在)います。あなたのまち(地区)の民生委員・児童委員は、八千代市役所健康福祉課【電話番号:483-1151】にお尋ねください。

～ 繋げよう! 人の輪、知恵の輪、地域の輪 ～

成年後見制度 日常生活自立支援事業

が私たちの安心の暮らしを支えています

3つの制度・事業は互いに繋がっています

●成年後見制度とは？

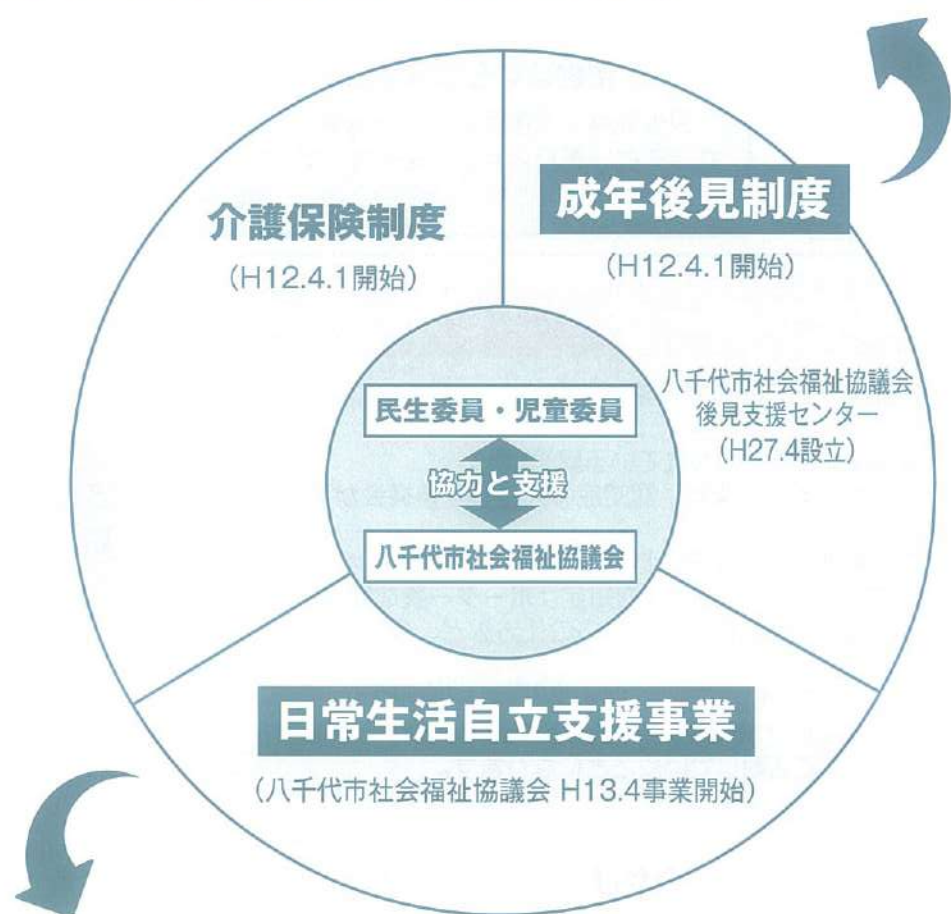
既に認知症とうの精神上的の障害により物事を判断する能力が充分でない方について、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶことにより、本人を法的に支援する制度です。将来の判断低下に備える任意後見制度もあります。

八千代市社会福祉協議会・後見支援センターが担っています

本人・家族等が裁判所に申請する際の窓口相談や申立て手続支援を行っています。

又、裁判所の認可を得て後見（保佐・補助）人としての身上監護の受任も行っていきます。

〔実績〕 H29年度 相談582件 申立支援76件 受任16件（延べ）



●日常生活自立支援事業とは？

八千代市社会福祉協議会では後見支援と同様に日常生活の判断能力が不十分な方が自立生活を送れる様に利用者との契約に基づく福祉サービス援助事業を行っています。

支援までの流れ



支援の内容

1. 福祉サービス利用支援：福祉情報の提供・手続等
2. 財産管理サービス：お金の出し入れの支援
3. 財産保全サービス：通帳、証書等の保管支援

〔実績〕 H29年度 相談716件 契約114件（延べ）

（注：上記実績等詳細について社協支援センターに伺いました）

民生委員・児童委員の活動

米本地区

民生委員・児童委員 19名（主任児童委員2名を含む）

（担当地区と特色）

八千代市の北東部で印西市に隣接しています。上高野から保品までの農村地帯の中に新興住宅が混在する地域と、2,700世帯の米本団地があります。

（地域状況と取組方針）

定例会では毎月2名の民生委員・児童委員が活動事例を発表しています。

みんなでその事例について意見を出し合ったり、各人の活動の参考にしています。

尚、地域住民の高齢化が進む中、特に声かけ見守り活動には気を配っています。

要介護認定の申請も増えており、阿蘇・睦地域包括支援センターに相談しながら、それぞれの申請者にきめ細かく対応するように心がけています。



高津地区

民生委員・児童委員 20名（主任児童委員2名を含む）

（担当地区と特色）

自衛隊駐屯地に囲まれたマンモス団地と代々続く農家、そして新しく入居した住民が生活する新旧一体の地域です。

私たちの地区の民生委員・児童委員は全員女性です。

（地域状況と取組方針）

ひとり暮らし高齢者が増えていますので、地域包括支援センターと連携しながら高齢者への対応を行っています。又、主任児童委員が各学校との情報交換を密にし、高津小児童の作品を展示する「高津笑店」を開催、地域の住民の方々に大変好評です。

定例会では地区の小中学校の校長先生等を招き懇談会を行います。一方、社協の支会が開催する行事にも積極的に参加し地域交流を深めています。



こんな活動もしています！

- 小・中学校との交流に努めています。
学校の種々の行事に参加したり、校長先生との対話会を通じて、児童の健全な成長を見守っています。
- 自己研鑽・意識向上に取り組んでいます。
日々の活動状況の情報共有や生活保護申請の意見書の記入方法等の研修を実施しています。
- 関係機関やケアマネジャーとの交流強化を図っています。
市・社協・包括支援センター及びケアマネ等との交流を強化して、情報共有と迅速な対応を目指しています。
- 特養・介護施設等の見学や状況把握の研修を行っています。
県内外の種々の施設を見学し、入居希望者への情報提供や相談に対応できるようにしています。
- 市内の公共施設の見学・研修を行っています。
警察・消防・ゴミ焼却・水道等の施設を訪問し、状況把握と情報提供に役立てています。
- 地域活動に積極的に参加しています。
支会・自治会・長寿会との連携や商店街とタイアップして、地域の活性化に取り組んでいます。